

文紙フェア大賞金賞 セメダイン Dはがせる固定剤

夏の文紙フェア 来夏は浜松町で開催予定



ステーションナリー情報委員会(口分田尚志代表幹事)は、7月9、10日に東京・柳橋の共和フォーラムで、「第40回2025年夏の文紙フェア」を開催した。

今回は初日の開始時間を午後1時に変更、1・5日の会期へ短縮したことで、来場者数は前年比11%減の456人となったが、1時間あたりの来場者数は16%増加、活気あるフェアとなった。

開会式で口分田代表幹事は「業界を取り巻く環境は常に変化し続けている。特に環境意識の高まりやデジタル化への対応、ユーザーの利便性を追求した高機能製品の開発などが重要なキーワードとなり、機能性やデザイン性に優れた文具がこれまで以上に注目を集めている。デジタル化が進む一方で、アナログの温もりや創造性を刺激する文具が求められている。文具の可能性と魅力を最大限に引き出すために、出展各社は商売のヒントやチャンスとなる新商品や企画を揃えている。なお、来年の話になるが、『第42回2026年夏の文紙フェア』は7月7、8日に都立産業貿易センター浜松町館で開催する方向で準備を進めている。

文紙フェア大賞の表彰式

大賞はサンビー マルチステッカー

第1回TSAアワード

TO K Y O S T A I O N E R Y W E E K 実行委員会(山本泰三代表)は、7月3日、合同展示会「F R A T (東京ポートシティ竹芝ポートホール)内で、海外のリテールバイヤーが仕入れた商品を選出するアワード「T O K Y O S T A I O N E R Y A W A R D (略称TSA)」の授賞式を開催、大賞にサンビーの「マルチステッカー」が選ばれた。



サンビー・山本社長(左より2番目) 囲んで記念撮影

TSAは、「T O K Y O S T A I O N E R Y W E E K 2025」の開

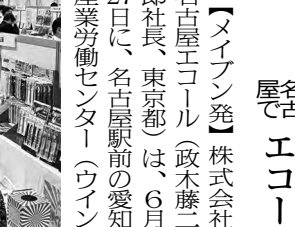
来年で3年目となる「T O K Y O S T A I O N E R Y W E E K (略称T S W)」東京文具週間」への参加、他イベントとのタイアップなど、新しい方向性を打ち出したい」と挨拶。今回は年間テーマ「S O M E T H I N G N E W ?」新しさの創造 未来を彩る文具のチカラ」のもと、東京文具週間と連携した。

会場構成は、受付のある1階には「文紙フェア大賞展示コーナー」を設けて、エントリ商品展示。2・3階の展示フロアには28社が出展、新製品をはじめイチ推し商品や提案商品を紹介。スタンブラリーも新しい、商談に弾みをつけた。また、特別企画として、事務局のN E X T s w i t c h 社(寺西廣記代表)が「文具のサフスク」コーナーを設けて、5年間にわたる全バックナンバーを2階会場に展示、注目を集めた。今回で31回目を迎える「文紙フェア大賞」は、「新製品部門」(2024年7月以降発売、ま

たは今後発売予定の商品が対象)と、「イチ推し商品部門」(出展社が特にアピールしたい商品が対象)の2部門、46アイテムをエントリ。「新製品部門」は、金賞にセメダインの「Dはがせる固定剤」、銀賞にデビカの「勉強モードきりかえ耳栓」、銅賞にエスディアイジャパンの「レピア」が受賞。「イチ推し商品部門」は、金賞に日本理化学工業の「なつかしの黒板ふきしりす画面クリーナー」「銀賞に北星鉛筆

問題解決のヒント 提供

名古 エコール・コレクション



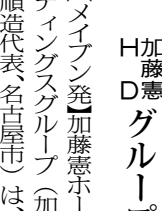
【マイブン発】株式会社名古屋エコー(政本藤二社長、東京都)は、6月27日に、名古屋駅前の愛知産業労働センター(ウインク)で、名古エコー・コレクション「エコール・コレクション」を開催した。同社では毎年この時期に「ECO L L E (イーコレ)」「エコール・コレクション」と銘打って、同社

の「水彩色鉛筆芯・C P R L I N E R 単品D P セット」、銅賞に「トイヨーの「兜飾り折り紙」が受賞した。なお、「第41回2026年新春文紙フェア」は1月7、8日に共和フォーラムで開催を予定している。

を中心とするネットワークのエコール事務局チーフ主催で催してきたもので、前日の24日には販売店から案内が発信されたユーザーを招待。今年よりネーミングも一新して「B U S I N E S S S T Y L E + 2 0 2 5」として開催、約360人が来場して終日賑わった。当日、開場前に開会式を

「LINK」テーマに

加藤グループ7社合同見本市



【マイブン発】加藤憲ホルディングスグループ(加藤順造代表、名古屋)は、7月2日に東京都立産業貿易センター浜松町館4・5階で、グループ7社合同の見本市「トレ・たてキャッチ2025」を開催した。事業会社グループ7社(加藤憲G. R. S.、加藤憲ツウワン、富士文具、西日本リテールサポート、九州リテールサポート、中部キスバ、コクヨ東海販売)と、加藤憲H Dの首脳陣が

勢揃いして開会式を行い、グループを代表して加藤憲社長が「まずはグループ全体の今期の予想の数字をお伝えする。9月末の売上予想は780億円で予算比99%、前年比97%。経常利益は8億9000万円となり、昨年の7億円を大きく上回った。売上は市場自体が小さくなって店頭売りに苦戦し、量販系が残念ながら減少した。ただし、まだまだ市場規模が大きいお客様は変わらずあり、かつG R SのEC部門は伸びているので、本日もそれらをしっかりとアピールして注文に繋げたい。今後の成長の柱はM & Aとしている。今期は中日ビジネス、歯医者の機器のメンテナンスを行うネクスリフの2社をM & Aした。今も進行中の案件があるが、決して闇雲ではない。なりたい姿をイメージしながら、シナジ



【マイブン発】加藤憲ホルディングスグループ(加藤順造代表、名古屋)は、7月2日に東京都立産業貿易センター浜松町館4・5階で、グループ7社合同の見本市「トレ・たてキャッチ2025」を開催した。事業会社グループ7社(加藤憲G. R. S.、加藤憲ツウワン、富士文具、西日本リテールサポート、九州リテールサポート、中部キスバ、コクヨ東海販売)と、加藤憲H Dの首脳陣が



行い、政本社長が「米の価格に代表されるように、昨今は物価高騰が著しい。文具業界もここ数年、価格改定が行われてきた。私はメーカーさんに勇気をもって価格を上げて欲しい」と言っている。それは我々流通段階の卸店と小売店がしっかりとマーケティングが取れるような価格設定にして頂きたい一念からである。つまり食材や他の物品に比べる」とまだまだ上げ幅が低い」と挨拶。

賛助会員を代表してリコージャパン愛知支社・片岡支社長が、見本市に期待を寄せる祝辞を贈った後、実行委員長のリテールサフライ営業部・水野次長の開会宣言と氣勢を上げる手締めで取引をスタートした。会場は、文具事務用品から、防災・防犯・BCP類、セキユリ関係やノベルティ商品からイベントコーナーが、そして例年好評の売場提案コーナー「HOT & SPOT」ゾーンでは、それぞれの商品群をしっかりと理論パネル等を設置してアピールした。

事前予約制で開催した。今回は「深世界」をテーマに、ユニークで個性的な35ブランドが集まり、商品の魅力をアピール。業界関連では、K I T E R A、シード、ベロス、M I W A X が出展した。

「深世界」テーマに35ブランド O : F R A T F R A T 実行委員会(山本泰三代表)は、7月3、4日、東京・港区の東京ポートシティ竹芝ポートホールで、文具・雑貨の合同展示会「F R A T # 7」を



F R A T の会場

折れない・割れない・サビない

匠の技

チタン製 ツーウェイ耳かきブラック 極薄極細仕上げ

便利なケース付き

日本

仕上げ

取れた垢がよく見える

滑らずに取れる

美しい暮らしを創る 緑雫利器ラボ クリーンベル https://www.greenbell.ne.jp/

ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL (06) 6747-7711・FAX (06) 6747-5557

代表取締役社長 徳弘 恭子



第一支店・第二支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店
グループ会社 株式会社 エヌケイ深井

封筒は企業の「顔」。 私たちは 企業の顔を大切にします。



富士封筒

FUJIX フジックス株式会社

http://www.fujix-kk.com

本社/〒577-0066 東大阪市長田中4丁目5番44号 TEL (06) 6784-3900(代) FAX (06) 6784-4100
東京営業所/〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-3 TEL (03) 5495-7521(代) FAX (03) 5495-0622
名古屋営業所/〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-7-6 TEL (052) 209-5580(代) FAX (052) 204-3200

ISO9001
ISO14001
認証取得